

# ホスピタリティコート hospita<sup>+</sup>lityCourt

メディカルコート八戸西病院広報誌 TAKE FREE



救急総合診療で  
命を守る

《地域医療フォーラム》

八戸市立市民病院 院長 今明秀さん  
八戸西病院 病院長 高橋通宏

連載：会長の健康メッセージ

「健康経営、目指しています。」八戸港湾運送株式会社 代表取締役会長 大矢 卓さん

働くママを応援しよう！ wonderful working woman / チャレンジ改善委員会

もっと開こう、地域へ OPEN HOSPITAL / 地域医療のネットワークをご紹介します HOSPITALITY NETWORK

ふるさとの味と栄養と / Information / イベントスケジュール

地域医療フォーラム

# 救急総合診療で命を守る

八戸西病院 病院長  
高橋 通宏

八戸市立市民病院 院長  
今 明秀さん



今年4月、八戸市立市民病院の新任院長に今明秀医師が就任しました。救急医療のエキスパートとして著名な今院長。メディカルコート八戸西病院の高橋通宏病院長が、八戸地域医療のこれからについて今院長と対談しました。



八戸市立市民病院  
院長 今 明秀さん  
1958年生まれ。自治医科大学医学部卒。僻地医療、外科医師、重症救急を経て、八戸への救命救急センターやドクターヘリ導入に尽力。2017年より八戸市立市民病院 院長兼臨床研修センター所長に就任。



八戸西病院  
病院長 高橋 通宏  
1942年生まれ。宮城県仙台市出身。岩手医科大学医学部卒。専門は外科。2000年よりシニール病院長(現八戸西病院)勤務。

1. 八戸市民病院に配備されている3台のドクターカー。八戸市を含む八戸圏域8市町村で病人やけが人が出た際には医師が同乗して現場に急行する。
2. 主に重症の救急患者を24時間体制で受け入れて救命医療を行う救命救急センター。八戸 ER(急患室)と合わせて医師14名、看護師87名体制で運営している。

## 救急総合診療とは

**高橋** 今先生は「救急総合診療」という言葉をよく使われますが、どのような考え方なのでしょうか。

**今** 通常、1次救急は各科の専門医が持ち回りで担当するのが実情です。専門性や得意な分野を持つていても、基本的な部分だけでも良しとされています。しかし国民市民はそこにもっと高いレベルの医療を要求しています。実際、基本的な部分の診療だけでは時々見逃しが発生します。3次救急とは違う形でも、そういう部分を得意とする医療を救急総合診療と名付けてずっと活動しています。

**高橋** 広い視野でカバーする救急に若者が共感したから、たくさん研修医が集まる病院になったというのでしょうか？

**今** そういうことを教えられる病院が日本に少なかった状況があります。たとえ教えられたとしても、1次2次3次と分かれていて部分的にしか勉強できません。一気に勉強しようとするれば、八戸市民病院がそれに近いことを実践していたので、そういう希望を持った研

修医が集中しました。

**高橋** 自分の勉強の出発点をシビアに考えた研修医に選ばれたということですね。地方では医師を長期的に定着させるのは難しいですが、「人生の一時期、短期的に」と考えると魅力が出てくると思います。地方の特長は自由度が高いところですね。東京の医療機関ではお互い監視し合い、枠の中にはまっていけないと批判的になってしまっています。若い時代の2〜3年間だけでも地方で勤務してもらい、医師の人材循環を構築する必要性を感じています。

## ドクターヘリとドクターカーの効果

**高橋** 急性期病院としての治療成績を教えてください。

**今** 心筋梗塞と脳卒中の治療ではスピードが大事で、発症から治療までの時間を短くすればするほど、後遺症を減らし救命に結び付けられます。例えば、心筋梗塞の患者さんが病院に入ってきてから心臓カテーテル治療が成功するまでの国際目標は90分以内です。この達

成率で病院の質が評価されますが、八戸市民病院は2年連続100%を達成しており日本一です。脳卒中治療では、早期に血栓溶解薬を使うと後遺症が軽減できます。八戸市民病院では、病院に入ってから血栓溶解薬の注射まで最短10分できています。世界中を探してもこれだけ早くできる病院はそうはありません。医師を運んで現場から治療を開始できるドクターヘリとドクターカーが絶大な効果を発揮しているからです。

**高橋** 素晴らしい治療成績だと思います。私たちの病院ではリハビリテーションを中心に後方支援を行っています。私が赴任して以降の15年間で疾病の重症度は明らかに下がりました。八戸地域での急性期治療の進歩を感じます。

## 肺炎対策、地域全体で連携を

**高橋** 地域医療全体として、どのような問題があると考えますか？

**今** 肺炎対策です。お年寄りであればだれでも罹患する病気で、治療するためにはベッド、機材、看護師が必要ですが、対応できる病

院の機能はどんどん縮小されています。今後、お年寄りの人口が増える中で患者さんの人数も当然増加が予想されています。肺炎に罹患した患者さんの受け入れ先がありません。多くの医療に関わる問題は大都市で先に発生しています。この現象は全国の地方から発生してきており、前例のない問題を我々の工夫で乗り切らなければいけません。

**高橋** 特に地方では高齢化が急速に進んでいるため、肺炎による死亡率増加の影響が大きく出るのだと思います。ワクチン接種のほか、口腔内を清潔に保ち誤嚥(ごんげん)予防のリハビリを強化する必要性を感じます。高齢者の肺炎は重症化しても気づきにくいことから救急病院へ搬送されていますが、医療資源は無限ではありません。八戸市民病院に過度に依存せず、先生活の負担を可能な限り軽減しながら、医療資源を効率的に活用できる体制を整えたいです。今後とも話し合いの機会を数多く設けてください。本日はありがとうございました。

健康経営、  
目指しています。



## 会長の健康メッセージ

リーダーの人生は健康メソッドの宝庫だ。

vol.12 八戸港湾運送株式会社

代表取締役会長 大矢 卓さん

profile: 1947年生まれ。青森県八戸市出身。2017年八戸港湾運送(株)代表取締役会長就任。グループ企業の東日本タグボート(株)・八戸臨港倉庫(株)・八戸港湾関連企業管理(株)の取締役社長を兼任。

### 趣味は山登り

中学生で写真部に入りましたが、指導してくれた先生が山岳部の顧問も兼ねていて、登山を始めました。当時は階上岳、名久井岳、八甲田山など近隣の主だった山に登り、大学や会社に入ってから北アルプスや中央アルプスなどの山にも登りました。10年ほど前からは登山中ひびの調子が悪くなったり年齢的な問題もあるのでやめていましたが、数年前旅行で黒部峡谷に行く機会があり、室堂で立山の景色を見て、つい2時間かけて山頂まで登ってしまいました。

山の魅力は、登り切った後の達成感、開放感と景色です。登る途中はかなり苦しくなりますが、山頂に到着して深呼吸をするとすこく満足して、「登って良かった」と思えます。今でもテレビで山の番組を見ていると体がうずきますが、「そんな年齢じゃない」と自分に言い聞かせて、今はゴルフに励んでいます。

この会社には父親も勤務していました。船を相手にして海外から輸入した原料を荷揚げしたり製品を船積みする仕事だと小さい頃から聞いていて、「ダイナミックだな、面白そうだな」という思いを持っていました。

### 八戸港の魅力

八戸港の大きな魅力は、その多様性です。新産業都市指定で臨海型の工場が立地して工業港として発展した後、外航コンテナ航路が開設して国際物流拠点としての機能も備えました。輸入した飼料原料をもとに鶏卵や食肉を生産して国内に配送する食糧供給拠点でもあり、八戸LNGターミナルなどが立地してエネルギー供給拠点にもなりました。北海道とのフェリー航路、国内有数の規模を誇る漁港と、これだけ多くの機能を持った港湾は全国でもほとんどありません。

特に、外航コンテナ航路が開設して海外との貿易が活発化したことは非常に画

期的で、新産業都市指定に次ぐ大きな出来事だったと思います。開設に当たっては、私もミッション団の一員としてシンガポールに行き船会社のオーナーと交渉しました。そういうことに携わることができたのは非常にいい思い出です。

### 「健康経営」への取り組み

私個人として健康診断では要再検査はなく、1日30分は運動するようにしています。健康の秘訣はストレスをためないことです。仕事でも即断即決をモットーにしている、自分で抱え込まないように努めています。

今は、65歳定年の時代です。社員には

長く健康な状態で仕事してほしいと願っています。体の調子が悪いといい仕事につながりません。社員の健康を重視して病欠者を少しでも減らしたいと考え、昨年から「健康経営」に取り組み始めました。社内に健康推進委員会を組織して、健康診断の有所見者比率や喫煙者の比率を下げる目標を掲げて、その目的を達成するためにウォーキングラリーや健康講話の開催、スポーツジムとの契約などを会社の予算を使って実施しています。

### 百年企業を目指して

我が社は今年で創立75周年です。八戸港の発展が会社の発展にもつながります。港の発展は、いかに数多くの船が港に入り取扱貨物が増えていくかに尽きます。そのためには船会社や荷主にとって使い勝手のいい港を目指さなければいけません。コンテナの場合は航路の充実であり、現在八戸市とタイアップし台湾航路の直行使の誘致に取り組んでいます。青森県のりんごの多くは京浜港を利用して台湾などに輸出されていますが、八戸港に台湾直行使があれば八戸港の利用はもっと増えるでしょう。

また八戸港が一層飛躍するためには、原料入荷や製品出荷に港湾を利用する産

業を臨海地区に誘致することが大事だと考えています。海外に進出した企業で、最近海外リスクを回避するため生産拠点を日本に回帰させる動きもあります。土地、人、港などの条件がそろえば港湾利用産業を誘致できるチャンスはあります。現在年間コンテナ取扱量は5万本台ですが、創立100周年へ向けて10万本の達成を目指し、八戸港とわが社の発展を図りたいです。



作業現場を持つ会社の大目標は、無事故・無災害の達成です。同社ではこの目標に「社員の健康」を追加。会社の事業として社員対象の健康講話などを開催しています。

### data

八戸港湾運送株式会社

本社：青森県八戸市大字河原本  
字海岸16-4  
設立：1942年8月



## 八戸港湾運送株式会社

八戸港における港湾荷役業務を始めとして、船舶代理店・通関・倉庫・コンテナ貨物集荷代理店・保険など、港湾を中心とした物流に関する業務を関連企業13社とともに総合的に行っている。

ゆるいけどゆるい

もっと向上できる、ホスピタリティ。

## チャレンジ 改善委員会

ゆるいけどゆるい

サービス、医療安全、感染対策などをホスピタリティ目線で改善するプロジェクト展開中です。



### 緊急事態に備え スタッコール訓練を行なっています



院内にスタッコールが響き渡り、訓練室にリハビリスタッフが即座に集合。緊張感の中、迅速な対応・処置をしました。

当院では、安全に病院を運営するため、様々な医療安全対策を行っています。そのひとつとして、スタッコール(病院内・敷地内で起きている緊急事態を病院内に知らせ、現場の近くにいる医師、看護師等を緊急招集するルール)を定めています。スタッコールは患者様の急変だけでなく、病院内・敷地内に倒れている人の処置等で緊急に人手が必要なる場合にも使用されます。このような緊急事態に備え、どの職種の職員も迅速な対応が出来る様に訓練を定期的に行っています。緊急時には、マンパワーを集めることが大切です。そのためにも日頃から訓練をして安全を提供できる環境を作って参ります。



### 「病院機能評価3rdG:Ver.1.1」認定を 二部門で取得しました



職員全員の取り組みが評価されたもの。今後も継続的に課題の検討・改善を行い、5年後の認定更新を目指します。

当院は、公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する「病院機能評価」を受審し、今年7月7日に主たる機能である「一般病院」と副機能「リハビリテーション病院」の機能評価認定を取得しました。病院機能評価とは、公益財団法人日本医療機能評価機構が、病院の機能や安全管理体制などのさまざまな評価項目について評価・認定を行うものです。病院「丸」となって課題に取り組む、改善にあたった経験を活かし、また「ホスピタリティある医療を実践し地域社会に貢献します」の理念のもと、今後も職員同、医療の質、安全、サービスのさらなる向上に努めて参ります。

## 働くママを応援しよう!

当院では女性の子育てと仕事の両立をサポートしています。出産・育児後の職場復帰率が高く、ワーキングママならではのリアルエピソードをご紹介します。



### 働き方の条件を選択できる職場に感謝しています。

幼い頃は体が弱く、身近で頼れる看護師に憧れ、その道に進みました。1年ほどで結婚・出産を機に家庭に入り、子育てに専念していましたが、パート先の研修で偶然、看護学校の恩師から就労支援講習会があることを聞き、参加して実際に注射器や血糖測定器などを手にすると、一気に思いが強くなり、子どもが3歳になる時に復帰しました。帰宅時間が変則になると「今日何時に帰ってくるの?」と子ども達に聞かれたり、土日出勤で夫に子どもの世話を頼んだり、家族に負担もかけていますが、師長や同僚から頼られたり、助けてもらうことを重ねていくうちに、充実感と感謝の気持ちで心が豊かになっていくのを実感しています。復帰直後、思うようにいかない時期、師長の「遠慮しない

で、何でも相談して」という言葉で、とりとめなく話しているうちに気持ちの整理がついて楽になったことを思い出します。復職するにあたって、ブランクが一番不安でした。でも、新人研修に参加し、新しい知識と技術を学びながら復習することで自信が持てました。インシデントを起こすと気持ちが落ち込むこともありますが、今は仕事がおもしろいと思えるようになりました。再び病院で看護師として働けて本当に良かったと思います。

2011年3月 八戸看護専門学校卒業  
2011年4月 八戸市内の病院勤務  
2012年～ 結婚・出産・パート勤務  
2017年4月 当院へ勤務



6階病棟  
看護師  
福山 沙織  
Soori Fukuyama

※2017年6月末取材時の内容です。

# 地域医療のネットワークをご紹介します。

## HOSPITALITY NETWORK



住み慣れた地域で質の高い医療サービスを安心して受けられる生活には医療、保健、介護、福祉のネットワークが不可欠です。



豊かな自然環境と活気にあふれた施設

### 多機能介護センター 妙水苑

多機能介護センター妙水苑は、有料老人ホームを中心にデイサービスセンターや訪問看護・訪問介護・居宅介護支援事業所や認知症グループホームを併設している施設です。重度の方、リハビリを希望される方、認知症の方など様々な介護ニーズに対応しています。なかでも有料老人ホームは、定員113床（うち14床個室）で、経腸栄養、酸素療法、痰の吸引など医療依存度が高い方はもちろん、在宅生活が困難になった方など幅広く受け入れれています。また、シルバークリニックと密に連携し、看取りの実績も多数あります。八戸市の蟹沢水道公園に隣接した自然豊かで静かな環境と、職員余興などのお楽しみ会や映画上映会などの施設内イベントが好評で、ご自分の状態に合わせて楽しむことができる活気にあふれた介護施設です。



**DATA**  
 多機能介護センター 妙水苑  
 〒031-0814 青森県八戸市大字妙字分枝39番地1  
 TEL.0178-30-2025 FAX.0178-30-1557  
[http://www.jinsenkai.com/network/network\\_detail.php?cd=20130731](http://www.jinsenkai.com/network/network_detail.php?cd=20130731)

もっと開こう、地域へ。

**OPEN**  
**HOSPITAL**

オープンホスピタル

### 白山台中学校 市川中学校

地域の医療実習生や職場体験の受入れに私たちは積極的に取り組んでいます。



### 3日間の社会体験活動で 将来の生き方や進路を見つめる

7月12～14日に白山台中学校、9月5～7日に市川中学校の社会体験活動が当院で行われました。病院の概要や各職種のオリエンテーション、診療部での体験、看護・介護体験、リハビリテーション体験を通して、各職種がどんな仕事で、どんな役割を持っているかを学び、将来の進路を色々な視野から考える機会になっています。

白山台中学校2年石橋絵里さんは「看護師の仕事は、きめ細かく患者さんの一人一人の様子を見ていて、すごいなと思った」。市川中学校2年の佐々木柊さんは「将来なりたいと思っていたリハビリの仕事は、理学療法と作業療法だけだと思っていたが、言語療法についても詳しく知ることができ、やはりこの仕事につきたいという気持ちが強くなった」と話していました。社会体験活動を通して、生徒たちが将来の生き方や進路について考えられるこの機会を大切にしていきたいと思えます。



部外者は入ることができない薬剤庫に入り、薬の種類や保管の仕方などの説明を受ける市川中学校から参加の4名。



看護部門では、車椅子の使用方を教わり実際に院内で操作。体験しなければ分からない難しさを学びました。



白山台中学校からは2年生の3人が当院での社会体験活動に参加。将来を考える貴重な機会になりました。



リハビリ部門では、実際に患者様と一緒に体操体験するプログラムが行われました。

## i Information

### SG研究大会を開催します

11月18日(土) 八戸看護専門学校にて、「第15回SGグループ研究大会」を開催します。「地域のいのちと暮らしを支える取り組みをSGグループから」をテーマに、多数の演題発表を企画しています。医療・介護関係者の方々や一般の方等も含め、多数の参加をお待ちしています。



### 世界糖尿病デー

11月11日(土) イオン八戸田向店にて、世界糖尿病デーにちなみ、八戸西健診プラザが糖尿病に関する講話、血糖測定等のほか、専門スタッフによる運動指導や栄養相談等を行います。参加無料ですので、どなた様でもお気軽に参加ください。



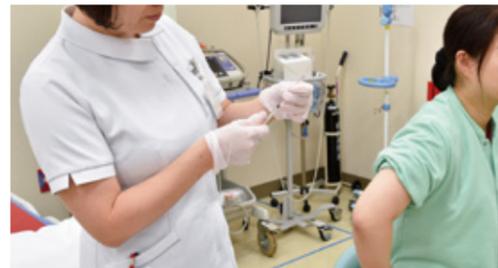
### 介護予防教室を開催します

11月14日(火) 10:30~臥牛荘、12月12日(火) 10:00~海浜荘、12月22日(金) 13:00~青山荘にて「介護予防教室」を開催します。介護予防をテーマとした毎回違う内容で、健康チェックや体操など楽しい企画を予定しています。ぜひご参加ください。



### インフルエンザ予防接種予約受付開始

10月20日から12月20日まで、インフルエンザの予防接種の予約受付をしています。予防接種は、インフルエンザが発症する可能性を減らし、重症化を防ぐ効果があります。インフルエンザから身を守るためには、正しい手洗いや普段からの健康管理が大切です。料金など詳細は、外来窓口へお問い合わせください。



## 油麩井

宮城県登米地方の

宮城県登米地方が発祥の地と言われる「油麩」を使った「油麩井」のご紹介です。だしを吸ったお麩がとてもジューシーで、カツ丼に匹敵するほど食べごたえがあります。コクの決め手は麩に含まれる油です。油麩を戻す時は、煮るタイミングをみながら油分が流れてしまわないよう。短時間で行うのがポイントです。



材料

〈3人分〉	
・ご飯	450g
・油麩(1cm幅の輪切り)	40g
・長葱	1本
・卵	2ヶ
・みつば	適量
・水	200ml
・めんつゆ(3倍希釈)	大さじ6
・みりん	大さじ1
・料理酒	大さじ2
・砂糖	大さじ2

調理時間  
およそ20分で  
できますよ。



#### profile

宮城県仙台市生まれ。平成9年に入職し、「介護老人保健施設など」の管理栄養士として従事。後輩の下條さんと2人で利用者さまの食事と栄養管理に日々がんばっています。



たんぱく質で  
筋肉を増やす

油麩も卵も、三大栄養素の1つ、たんぱく質を豊富に含む食品です。サルコペニア(加齢で筋肉量が減少し筋力が低下した状態)対策の食事のポイントは筋肉の材料になる、たんぱく質を欠かさずに摂る事。特に、構成するアミノ酸の一種、ロイシンを多く含む食品を摂る事が有効で、卵にはこのロイシンが比較的豊富に含まれています。

〈1人分の栄養価〉カロリー:443kcal タンパク質:14.2g 脂質:11.1g 食塩:3.1g

## Event イベントスケジュール

□2017年

11月14日(火)	12:45～13:15	アフタヌーンコンサート 八戸カナリア会 民謡と踊り	交流ホール	当日自由参加
11月22日(水)	13:00～14:00	糖尿病教室 食事療法～応用編(管理栄養士)	交流ホール	当日自由参加
11月28日(火)～12月26日(火) 終日		クリスマスイルミネーション点灯	交流ホール	
12月20日(水)	13:00～14:00	糖尿病教室 さあ始めよう! 運動療法(理学療法士)	交流ホール	当日自由参加
12月21日(木)	12:45～13:15	クリスマスロビーコンサート WMS(有志職員バンド)コンサート	交流ホール	当日自由参加

□2018年

1月18日(木)	12:45～13:15	ニューイヤーコンサート WMS(有志職員バンド)コンサート	交流ホール	当日自由参加
1月24日(水)	13:00～14:00	糖尿病教室 これで安心! 糖尿病生活(看護師)	交流ホール	当日自由参加

### どなたでも無料観覧できる

### 「アフタヌーンコンサート」開催中です

当院1F交流ホールでは、月に一回程度、12:45から「アフタヌーンコンサート」を開催しています。地元演奏家などによるコンサートや郷土芸能など、どなたでも無料で楽しみいただける内容です。自然光が心地よく降り注ぐ吹抜け空間で、心穏やかになるパフォーマンスをご堪能ください。



地元サークルによる唄と踊りをはじめ、有志職員バンド WMSによる演奏会など、季節やテーマに合わせた多彩なプログラムをご用意しております。

## Note 編集ノート

### 「第7回メディカルコート夏まつり」へのご来場ありがとうございました。

表紙の写真は、第7回メディカルコート夏まつりでの集合写真です。当日は天候にも恵まれ、たくさんの方々にご来場いただきました。昨年に引き続き、手洗いチェックやバルンアートなどのイベントをはじめ、スタンプラリーも大好評でした。夜の部の花火大会では、きれいな花火を間近で楽しんだ方々からは大歓声も。来年の夏まつりもたくさんのイベントを準備してお待ちしております。



夏まつりでは手洗いチェックコーナーを担当した当院の感染対策委員のメンバーです。来場の方に手洗い探検していただきました。